



会津医療
センターの

教えて



先生!

【43】

状態に合わせて薬を選択

Q 膝下～足部まで冷え気味で困っており、漢方薬を飲みたいたと思っています。どのようなものがあるのか教えてほしいです。
（会津若松市 男性 78歳 K・Nさん）

A 漢方では、親から受け継いだ生命力を保持する部位を「腎」と名付けました（現代医

学の「腎臓」とは異なる概念です）。「腎」の衰えを腎虚といい、視力・聴力や足腰の筋力の低下などの加齢に伴って生じる症状は、腎虚によるものとされます。

また長引く病気や加齢などにより体力が低下し、熱產生が弱くなつた状態を「寒」といい、冷え症に近い状態です。

お尋ねいただいた膝下の冷えは、腎虚に寒が加わった症状と考えることができます。寒を伴う腎虚の治療薬としては八味丸が一番に挙げられます。八味丸（または八味地黄丸）は、頬紅や腰痛、眼精疲労や難聴などに用いられます。しかし、八味丸

に含まれる地黄や附子は体質が合わない方には食欲不振やのぼせ等の望ましくない症状を引き起こすことがありますので注意が必要です。

また足は冷えるが顔がほてる方は、桂枝や黃連というのぼせを下に巡らせる生薬を中心とした漢方薬を用います。血の巡りが悪いために手足の先が冷える方には、血の巡りをよくする漢方薬も用います。

漢方では同じ冷え性でも一人一人の状態に合わせてお薬を選び治療を進めます。八味丸で冷えが良くならない方などは、漢方の専門家にご相談ください。
（漢方内科医長 金子彰）